

テレワーク高度化に向けて

サードワークスペース利用者ヒヤリングに基づく考察
～2019年度サードワークスペース研究部会報告～

部会名	サードワークスペース研究部会
研究部会趣旨 (2017年度に設定)	テレワークを推進するにあたっては、オフィス・自宅以外のサードワークスペースの活用が今後重要となる。そこで本研究部会ではサードワークスペースを活用するために、働く場所についての理解を深め、情報を提供する。 「企業の生産性を上げ、同時に個人のQOLを向上させる」ワークスタイルを追求し続けることを目標とする。
2019年度注目点	サードワークスペースを既に活用している利用者ヒヤリングを行い、企業が有効活用できる可能性を事例を通じて検討する
研究項目	サードワークスペース活用についての研究（定例会）
部会頻度	定例会：月1回
部会長・副部会長	部会長：シーエーシー 齋藤 学 副部会長：合同会社ユビキタスライフスタイル研究所 萩原 高行
アドバイザー	サイボウズ株式会社 社長室 クラウドソーシャルデザイナー 松村克彦
事務局	若生 直志（日本テレワーク協会主席研究員）

会合	日程	会場	内容
第1回	7月17日(木)	YWCA会館	部会の概要説明、自己紹介、自社のテレワーク実施概要について。テーマ検討
第2回	9月19日(木)	森永ヴィレッジ (田町)	ヒヤリング3名
第3回	10月 2日(水)	Digima BASE (市ヶ谷)	ヒヤリング3名
第4回	11月21日(木)	COHSA SHIBUYA (渋谷)	ヒヤリング4名
第5回	12月20日(金)	WeWork(京橋)	ヒヤリング2名
第6回	1月13日(木)	ワークスタイリング (八重洲)	ヒヤリングの振り返り
第7回	2月13日(木)	IID 世田谷ものづくり学校 (池尻)	提言骨子の検討
最終回	3月11日(水)	コワーキングスペース茅場町Co-Edo (茅場町)	報告書ドラフト検討 (Zoom開催)

サードワークスペース
利用者をヒヤリング
(計：12名)

開催の様子①



ワークスタイリング



WeWork



COHSA SHIBUYA



開催の様子②

デジマベース(DIGIMA BASE)



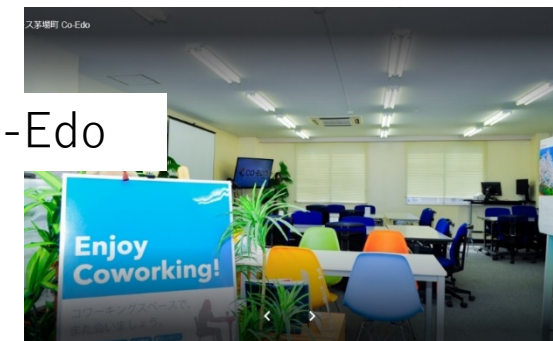
IID 世田谷ものづくり学校



MORINAGA Village



Co-Edo



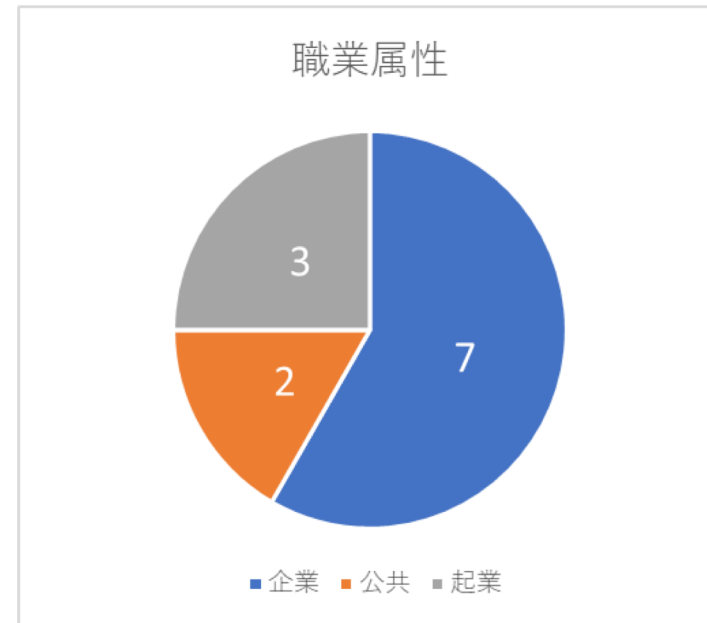
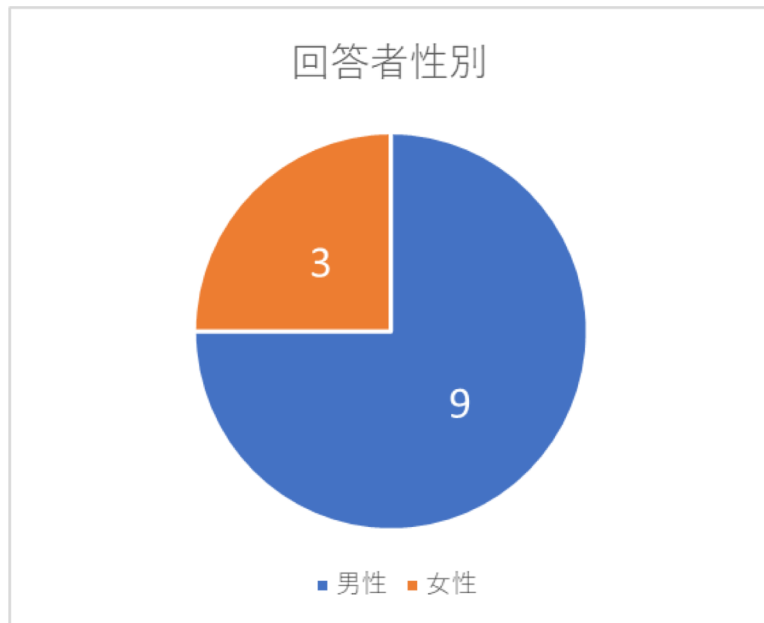
サードワークスペースを既に活用している利用者ヒヤリングを行い、企業が有効活用できる可能性を事例を通じて検討した結果当研究部会は以下の提言を行うこととした

企業は従業員のサードワークスペース選択に関する社内規制を緩和すべきである

- 企業実用品質に達しているサードワークスペースは既に存在している
- 執務場所規制緩和時は何をどこでやるのかを合理的に考えることが重要
- フレックスタイムをサードワークスペース選択規制緩和と同時に推進すべきという主張は提言に含めず参考意見とした
 - 時間制約の緩和が効果を出しているとする表明が20%と少数意見であったため、今回の提言に含めるのは見送り

サードワークスペースを既に活用している利用者ヒヤリングを行い、企業が有効活用できる可能性を事例を通じて検討する。

- ヒヤリング対象者（合計12名）
 - 研究会参加企業に依頼して選定
 - コワーキングスペースに依頼して選定



1. 自己紹介
2. テレワークの状況をお聞かせください
3. サードワークスペースを利用するようになったのはいつごろですか
4. サードワークスペースの利用時間と利用内容について教えてください
5. なぜそのワークスペースを選びましたか
6. ワークスタイル観に変化はありましたか
7. サードワークスペースを利用して良かった事、困った事
8. コメント

特徴的な回答

スペース利用前後での意識の変化	時間制約の緩和が生産性向上に貢献	場所制約の緩和が生産性向上に貢献
ワークライフ観が変わってきている。9時5時という勤務形態に縛られる必要は無いと思うようになった。	<input type="radio"/>	
予想以上に「会社でなくても仕事はできる」事が分かった。総拘束時間は減ったが、達成業務量は減らない。在籍時に割込みが入る事による生産性低下が抑制できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
部下の管理も、ツールを使えば特に問題にはならない。安易に上司に頼らずに考える習慣がつくため、部下の育成にもつながる。		<input type="radio"/>
フリーアドレス化の効果は大きい。パーソナルロッカーと共用資源だけで業務が回せることに気が付いたのは大きい。文書の扱いはまだまだ検討が続いている。一般的なプライバシーは覗き見防止シートで概ね十分。		<input type="radio"/>
サードワークスペースなしでは生活が考えられない。メインオフィスじゃなくても仕事ははかどるし、メンバーと連携可能。		<input type="radio"/>
コワーキングスペースではコミュニティに重きを置く。コワーキングスペースを使う際は、ノイズレベルと家具の質は選定の理由となる。		<input type="radio"/>
時間と場所を自己管理しながら9時5時にとらわれることなく効率的に働けるようになったと感じている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コラボレーションを行う際に、情報開示に抵抗のない企業があることを知ったのは大きな変化		<input type="radio"/>

サードワークスペースへの不満

良かった事・困った事（抜粋）	スペースの 営業時間	WEB会議等が 困難	業務ネットワー クへのアクセス
朝活の時間にスペースが開いていないのは不便。	○		
ネットワークへのアクセスはまだできていないため不便。 来年度アクセスが可能となる予定。			○
TV会議ができるスペースが極めて少ない。カラオケボックスも利用するが満足度は低い。		○	
電話会議の実施がが難しい		○	
WEB会議・電話会議のコワーキングスペースでの改善を期待したい		○	

テレワーク高度化に向けての提言

サードワークスペース利用者ヒヤリングに基づく考察
～2019年度サードワークスペース研究部会報告書～

2020年6月23日

一般社団法人 日本テレワーク協会

サードワークスペース研究部会

目次

要約.....	1
1. サードワークスペース利用者ヒヤリング.....	1
1.1. サードワークスペース利用者ヒヤリングの概要.....	1
1.2. 特徴的な回答内容について.....	2
1.3. サードワークスペースへの不満.....	4
2. 考察.....	5
3. おわりに.....	6
付録1：ABW概略.....	7
付録2：サードワークスペース利用者におうかがいたい事.....	10

• 何をどこでやるのかはABWそのもの

個人作業	
	デスクで個人的に行う集中作業
	デスク外で個人的に行う集中作業
	読む
	思索/創造的思索
	個人的に行う通常業務
共同作業	
	共同で行う創造的作業
	共同で行う集中作業
	他者からの学習
	非公式な社交
	非公式な予定外の会議
公式会議	
	予定された会議
	訪問者、クライアント、顧客の接待
	大規模なグループ会議または聴衆
	ビデオ会議
	電話会議
会話	
	通話
	機密事項の話し合い
	私的な会話
その他	
	技術的/専門的設備または資料の使用
	書類や資料の配布
	くつろぐ/休憩

提言



サードワークスペースを既に活用している利用者ヒヤリングを行い、企業が有効活用できる可能性を事例を通じて検討した結果当研究部会は以下の提言を行うこととした

企業は従業員のサードワークスペース選択に関する社内規制を緩和すべきである

- 企業実用品質に達しているサードワークスペースは既に存在している
- **執務場所規制緩和時は何をどこでやるのかを合理的に考えることが重要**
- フレックスタイムをサードワークスペース選択規制緩和と同時に推進すべきという主張は提言に含めず参考意見とした
 - 時間制約の緩和が効果を出しているとする表明が20%と少数意見であったため、今回の提言に含めるのは見送り

- Activity Based Workingは、割り当てられた固定席のみで執務する携帯ではなく、業務タスク(Activity)の特質に応じて、執務場所を選択できるようにすることで、業務効率向上（あるいはコストダウン）を図ろうとする考え方である。
- 英Leesman社(<https://www.leesmanindex.com/>)は、「ワークプレースエンプロイヤーエクスペリエンス評価」というベンチマーク評価サービスを提供しており、満足度の高いオフィス（オフィス設定）事例を表彰している。

サードワークスペースを既に活用している利用者ヒヤリングを行い、企業が有効活用できる可能性を事例を通じて検討した結果当研究部会は以下の提言を行うこととした

企業は従業員のサードワークスペース選択に関する社内規制を緩和すべきである

- 企業実用品質に達しているサードワークスペースは既に存在している
- 執務場所規制緩和時は何をどこでやるのかを合理的に考えることが重要
- フレックスタイムをサードワークスペース選択規制緩和と同時に推進すべきという主張は提言に含めず参考意見とした
 - 時間制約の緩和が効果を出しているとする表明が20%と少数意見であったため、今回の提言に含めるのは見送り

部会長

株式会社シーエーシー 経営統括本部 経営企画部 齋藤 学

副部会長

合同会社ユビキタスライフスタイル研究所 萩原 高行

アドバイザー

サイボウズ株式会社 社長室 松村 克彦

部会参加者

BHJホールディングス株式会社 経営企画 高木 洋実

NTTコミュニケーションズ株式会社 第四営業本部 流通・サービスグループ 吉田 誠

株式会社リクルート リクルートワークス研究所 グローバルセンター 村田 弘美

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 総務・人事企画部 鈴木 一光

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 総務・人事企画部 人事企画課 伊藤 彩香

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 人事部 ダイバーシティ推進課 平河 景

コニカミノルタジャパン株式会社 ITS事業企画部 長谷川 求

ザイマックス不動産総合研究所 石崎 真弓

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 働き方2.0推進室 城宝 淳一

ネットワンシステムズ株式会社 カスタマーサービス本部 コンサルティングサービス部 尾形 誠治

パーソルプロセス&テクノロジー株式会社 ワークスイッチコンサルティング 成瀬 岳人

リコージャパン株式会社 構造改革推進センター プロセス革新部 統括グループ 草間 勝巳

楽天コミュニケーションズ株式会社 IPコミュニケーションビジネス部 野田 恵里

株式会社アトリウム 新規事業部 瀬戸口 俊也

株式会社オカムラ フューチャーワークスタイル戦略部はたらくの未来研究所 池田 晃一

株式会社ソリトンシステムズ ITセキュリティ事業部 プロダクト部 多田 正彦

株式会社デジタルウーマン・インターナショナル 仲田 真理

株式会社パソナ 営業統括本部 湯田 健一郎

株式会社日立製作所 公共システム事業部 水野 成夫

佐倉市 産業振興部 産業振興課 塚田 祥平

三井不動産株式会社 ワークスタイル推進部 ワークスタイリンググループ 大石 浩司

社会福祉法人大山保育会 幼保連携型認定こども園 上滝保育園 杉森 かおり

社会福祉法人大山保育会 上滝保育園 杉森 かおり

社会保険労務士法人NSR 中島 康之

社会保険労務士法人NSR テレワークスタイル推進室 武田 かおり

静岡市 企画局 企画課 移住・定住推進係 洪 晟云

日本ユニシス株式会社 Techマーケ&デザイン企画部 赤松 誠

日本ユニシス株式会社 Techマーケ&デザイン企画部 長澤 良樹

有限会社ユーロデザイン 安積 直道

和歌山県 企業立地課 阪井 加寿子

一般社団法人日本テレワーク協会 滝沢 靖子

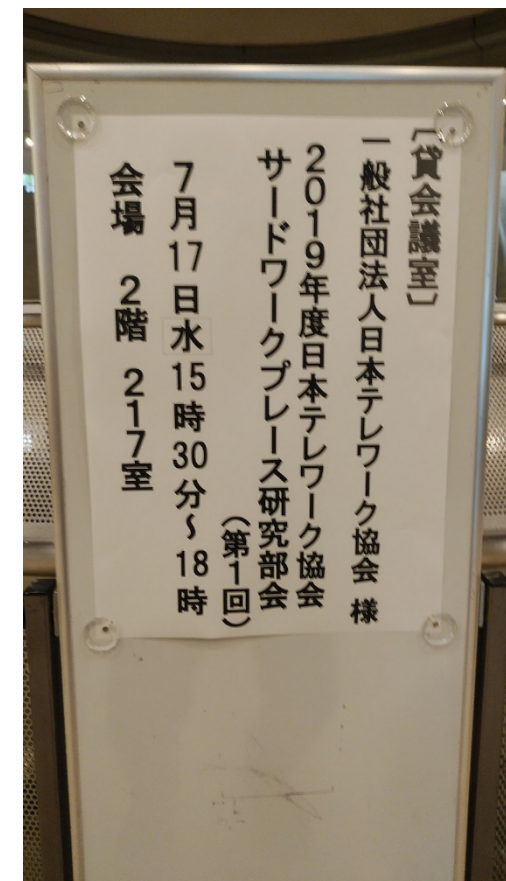
事務局

一般社団法人日本テレワーク協会 若生 直志

2020年研究部会概要

部会名	サードワークスペース研究部会
研究部会趣旨 (2017年度に設定)	テレワークを推進するにあたっては、オフィス・自宅以外のサードワークスペースの活用が今後重要となる。そこで本研究部会ではサードワークスペースを活用するために、働く場所についての理解を深め、情報を提供する。 「企業の生産性を上げ、同時に個人のQOLを向上させる」ワークスタイルを追求し続けることを目標とする。
2020年度注目点	テーマ「COVID-19とサードワークスペース」 With コロナ、アフターコロナの時代に、企業はどのようにサードワークスペースと関わるのが良いかというテーマで研究活動を行う。 併せてABWについても検討を深める。その過程で、自律をどう捉えていくかを議論し、能力の獲得（能力開発、計測）の視点と、企業側の制度設計（フレックス等の執務形態や評価の考え方など）の視点の両面で考える。
研究項目	サードワークスペース活用についての研究（定例会）
部会頻度	定例会：月1回
部会長・副部会長	部会長：シーエーシー 齋藤 学 副部会長：合同会社ユビキタスライフスタイル研究所 萩原 高行
事務局	若生 直志（日本テレワーク協会主席研究員）

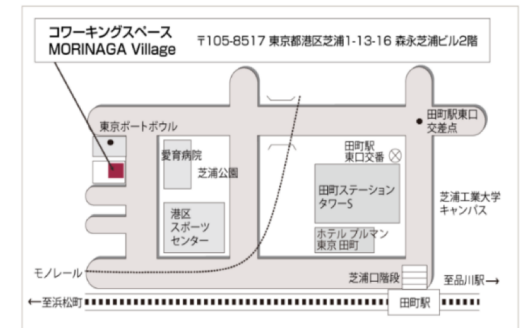
第1回 YWCA会館



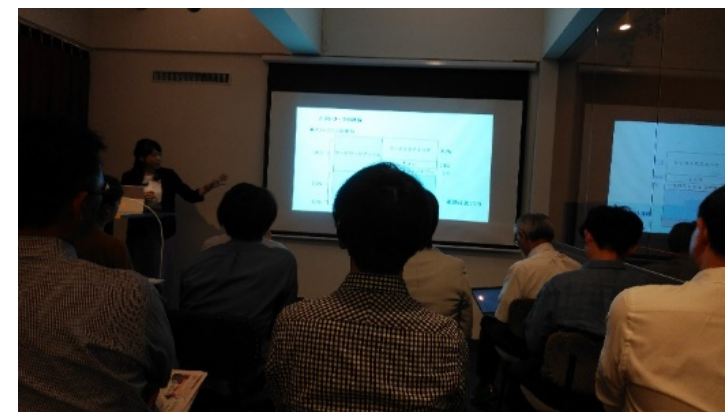
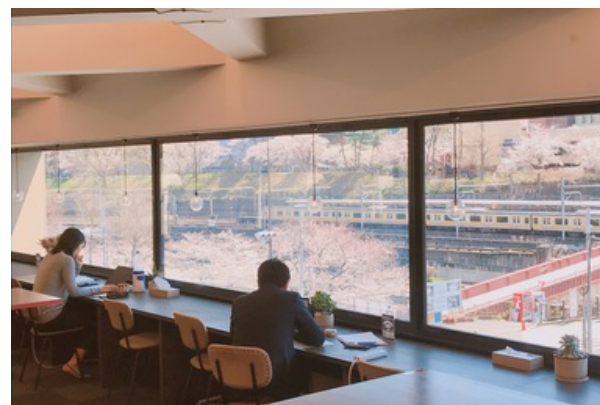
第2回 森永ヴィレッジ (田町)



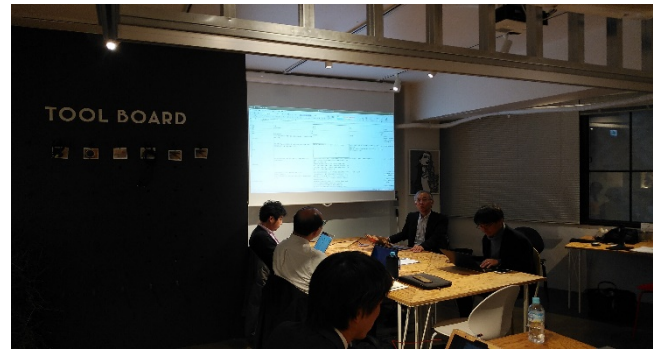
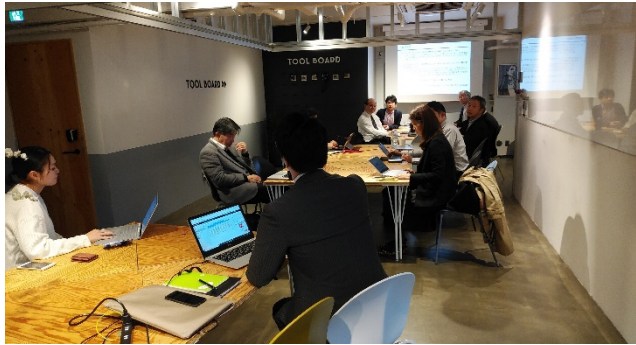
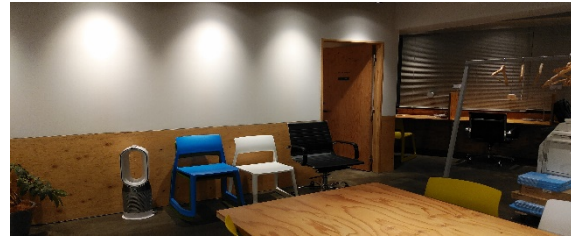
⑩ 右に看板と階段見えます。階段を上った2階です！



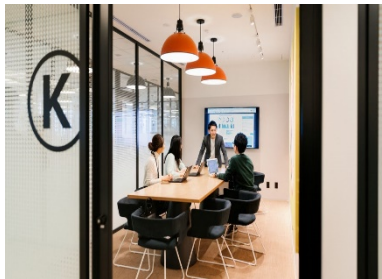
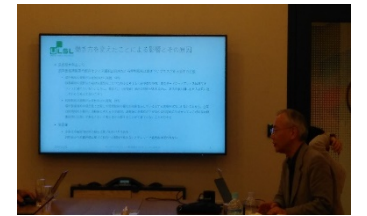
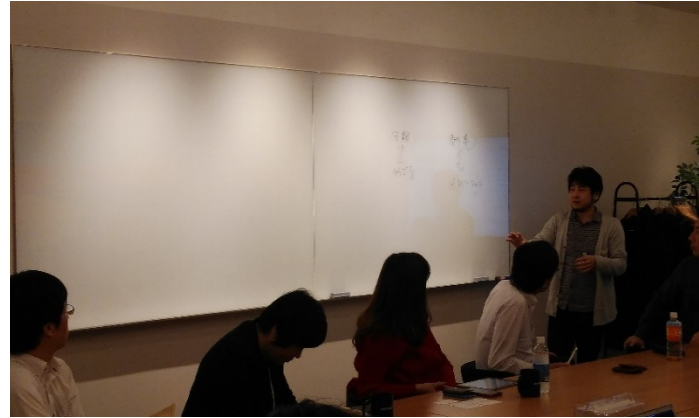
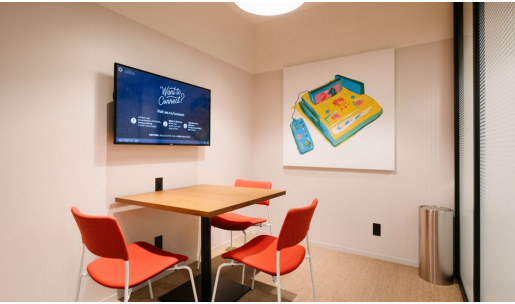
第3回 Digima BASE (市ヶ谷)



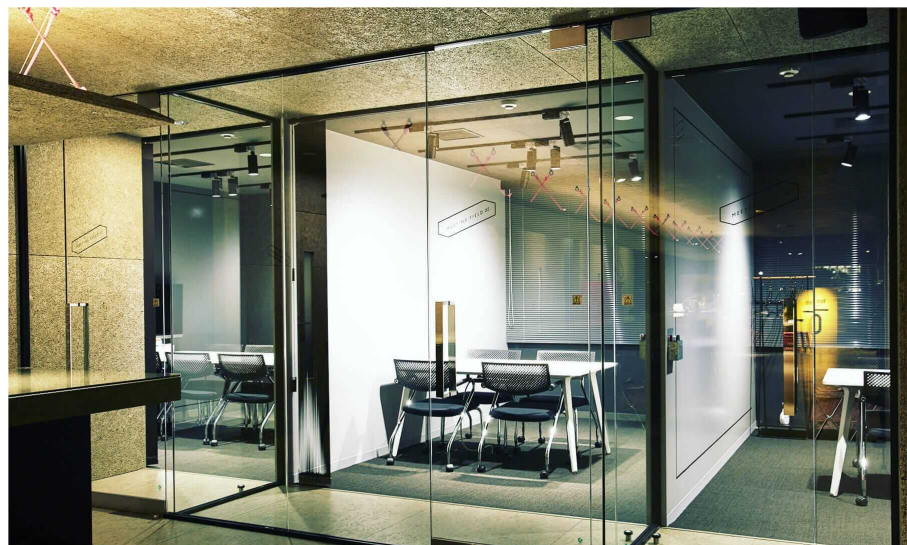
第4回 COHSA SHIBUYA (渋谷)



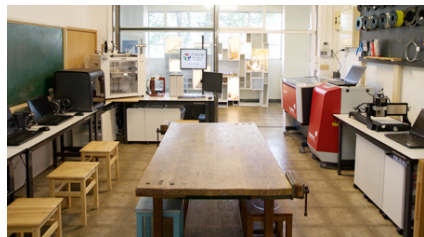
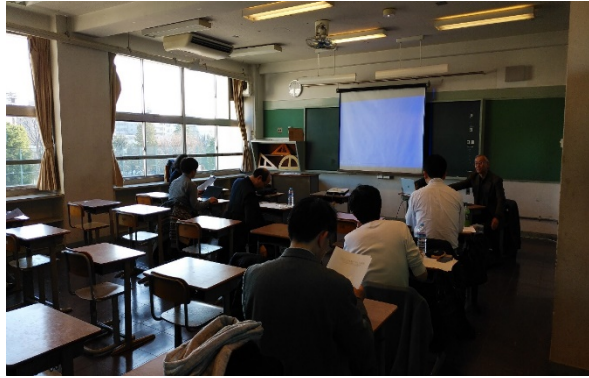
第5回 WeWork(京橋)



第6回ワークスタイリング (八重洲)



第7回 IID 世田谷ものづくり学校 (池尻)



最終回 茅場町Co-Edo (茅場町)

